

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 16 日 (2017.2.16)

【公開番号】特開 2016-76740 (P2016-76740A)

【公開日】平成 28 年 5 月 12 日 (2016.5.12)

【年通号数】公開・登録公報 2016-028

【出願番号】特願 2014-203921 (P2014-203921)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

G 0 2 B 26/08 (2006.01)

G 0 3 B 5/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232 Z

G 0 2 B 26/08 C

H 0 4 N 5/232 E

G 0 3 B 5/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 13 日 (2017.1.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光学要素の相対位置を所定の周波数で変化させる位置制御部と、
撮像素子における画素からの画像信号の読み出しを制御する読み出し制御部と、
前記周波数と、前記読み出される画素の間引き量とに基づいて、所定のフレームから画像を生成する画像生成部と
を備える情報処理装置。

【請求項 2】

前記光学要素は、レンズ、撮像素子、およびレンズから撮像素子の撮像面に至る光路上に設けられた光学部材のいずれかを含む
請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記位置制御部は、前記間引き量に応じて前記周波数を切り替える
請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記画像生成部は、前記周波数及び前記間引き量に基づいて、複数のフレームから画像を生成する
請求項 1 から 3 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記画像生成部は、前記光学要素の位置の制御によるローパス効果画像を生成する
請求項 1 から 4 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記画像生成部は、生成される画像の一部領域を更新する
請求項 1 から 5 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記一部領域は、モアレが発生した領域である
請求項 6 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記画像生成部は、前記一部領域においては、前記周波数に応じた周期で前記画像を更新する

請求項 6 または 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記画像生成部は、前記一部領域に含まれた他の領域においては、前記画像信号の読み出し周期に応じた周期で前記画像を更新する

請求項 8 に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記画像生成部は、生成される画像における複数の前記一部領域を、それぞれ異なる周期で更新する

請求項 6 または 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 11】

前記画像生成部は、前記複数のフレームの露光時間が異なる場合には、前記露光時間を同一または略同一にする処理を行ってから画像を生成する

請求項 4 から 10 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 12】

前記読出し制御部は、シャッタースピードの設定に応じて前記読出しを制御する

請求項 1 から 11 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 13】

前記画像生成部は動画像を生成する

請求項 1 から 12 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 14】

前記位置制御部は、前記画素におけるローパス効果が発生しない第 1 の位置と、該第 1 の位置以外の第 2 の位置間を移動するように前記光学要素の相対位置を変化させる

請求項 1 から 13 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 15】

光学要素の相対位置を所定の周波数で変化させ、

撮像素子における画素からの画像信号の読み出しを制御し、

前記周波数と、前記読み出される画素の間引き量とに基づいて、所定フレームから画像を生成する

情報処理方法。